



# 生育期の管理作業（後編）

（出穂前の適切な管理で、収量・品質向上を図りましょう！）

## 1. 穂肥をお忘れなく！ ～出穂前の貴重な栄養補給です～

### ＊ポイント

- ・ 本年は暖冬傾向にあり、麦の生育が全体的に進んでいます。まだ穂肥を施用していない場合は速やかに行い、収量確保につなげましょう。

①成分量（小麦・裸麦共通）＊高タンパク小麦は窒素5kg/10a施用

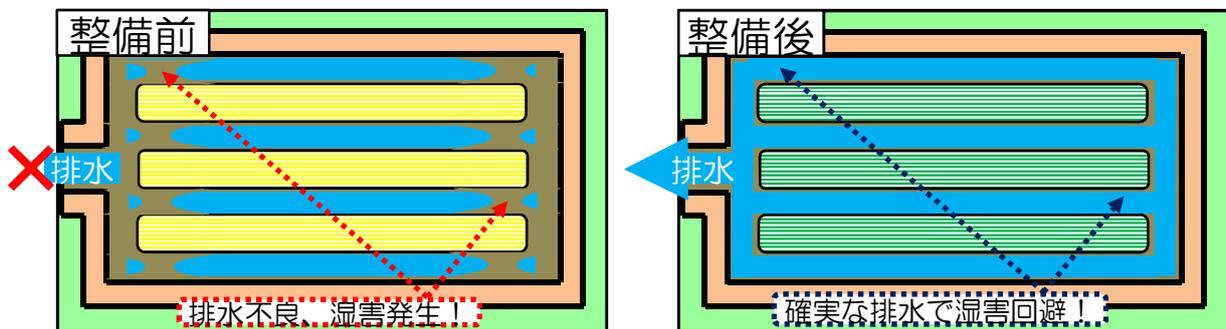
成分量 (kg/10a)	基肥	分けつ肥	穂肥	計
窒素 (N)	5	2	3	10
リン酸 (P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )	8	0	0	8
カリ (K <sub>2</sub> O)	5	1	2	8

②施肥量（化成肥料16-0-16を施用する場合） 20kg/10a

## 2. 排水対策の徹底 ～排水溝の整備で湿害防止・軽減を！～

### ＊ポイント

再確認！排水溝の詰まりやすい箇所 ＊交わる所に注意しましょう。



**詰まった土を除去し、溝を深くし溜まった水を圃場外に！**

- ・ 本年は1回当たりの降雨量が多く、圃場に長時間水が溜まる場合が増える傾向にあります。
- ・ 排水対策を徹底し、湿害による生育不良を防ぎましょう。

## 3. 広葉雑草対策 ～収穫物への異物混入を防ぎましょう！～

### ＊ポイント

広葉雑草用除草剤 ＊収穫期の早い裸麦にはアクチノールのみ使用可能です！

薬剤名	使える麦種		使用上の注意		散布時の注意		適用雑草・限界葉齢		
	小麦	裸麦	使用時期	回数	使用量/10a	散布量/10a	カラスノエンドウ	タデ類	ヤエムグラ
ハサグラン液剤	○	×	生育期（雑草3～6葉期） 但し収穫90日前まで	1回	100～	70～	6葉期 まで	初期のみ	4葉期 まで
アクチノール乳剤	○	○	穂ばらみ期まで （雑草生育初期）	2回 以内	200ml	100L	3葉期 まで		

- ・ 散布する場合は風向き・強さに注意し、圃場外に飛ばさないよう注意しましょう！